※令和４年度以降入学生用

学校番号	2004

令和５年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　地学基礎　（数研出版）						
副教材等	センサー地学基礎　3rd Edition　（啓林館） スクエア最新図説地学　二訂版（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学基礎では、私たちが暮らす地球と宇宙について学びます。窓の外を眺めるといつでも見える空や雲、道を歩けば落ちている岩石、このような身近な事物・現象から、謎の多い地下深くの世界、宇宙の果てまで非常に幅広く扱います。日本列島は４つのプレートの境界に位置するため地震災害や火山災害が多いです。また、巨大な大陸と広大な海洋に挟まれた中緯度地域に位置し、南北に長いため、季節や場所によって天気は変化に富んでいます。これらの知識や地球の問題について科学的に考える力を身に付けましょう。そして、地学基礎で学んだ地球観・宇宙観を活用して、これからの地球について主体的に考えて行動できるようになってください。

２　学習の到達目標

(1)「エネルギー」「密度」「循環」の３つのキーワードを軸に地球のすがた、地球の活動、地球の環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 日本の地学的な特徴を理解し、それらがもたらす恩恵や災害など「自然環境と人間生活との関わり」について探究する力を養う。また、地球史と宇宙史について学習した知識を活用して、「これからの地球」について探究する力を養う。

(3)地球環境の変化の仕組みを理解するとともに、それらの現象と人間生活との関わりについて主体的に関わり、科学的に探究しようとする力を養い、「自然環境の保全に寄与する態度」を身に付ける

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	惑星としての地球	A 地球の概観 ①地球のプロフィール ②地球の大きさと形 ③【探究】地球の大きさを測定しよう！ ④地球の偏平率 ⑤地球の表面 ⑥地球の内部構造 ⑦【探究】地球の構成物質の密度を測定しよう！	a:地球の概観について、地球の大きさ、形、偏平率、表面の凹凸、内部構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 地球の大きさや地球の構成物質とその密度について、観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現している。 c:地球の大きさや地球の構成物質とその密度に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	小テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	レポート 提出ノート
	活動する地球①	B プレートの運動 ①プレートテクトニクス ②プレート境界 ③プレートの運動 ④地震 ⑤地震波 ⑥地震の分布 ⑦火山 ⑧火山の分布 ⑨【探究】海外の友人に日本の特徴をメールで送ろう！	a: 日本の地学的な特徴(火山活動や地震)をプレートの運動と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 日本の地学的な特徴(火山活動や地震)について、観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現している。 c: 日本の地学的な特徴(火山活動や地震)に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

2学期	活動する地球②	C 岩石の循環 ①岩石の分類 ②火成岩の組織 ③火成岩の分類 ④風化作用 ⑤堆積岩の分類 ⑥変成岩の分類 ⑦【探究】岩石サイクルのエネルギー源を考えよう！	a:岩石の分類、形成過程、循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b：岩石サイクルのエネルギー源について、観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現している。 c:岩石サイクルのエネルギー源に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	 レポート 提出ノート
	大気と海洋	D 大気の構造 ①高度と気温･気圧の関係を調べよう！ ②気体分子 ③大気圏の層構造 ④雲の発生 ⑤雲の分類 E日本の気候 ①太陽放射エネルギー ②地球のエネルギー収支 ③熱の輸送 ④風が吹くしくみ ⑤温度差による水平対流 ⑥大気の大循環 ⑦海洋 ⑧海水の循環 ⑨海水温分布と塩分分布 ⑪【探究】日本の気候	a:大気の構造、雲の発生と分類、大気や海洋の循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b：日本の気候の原因となる日本列島の位置の特徴について、観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現している。 c:大気、海洋、日本の気候に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 発表スライド	発表スライド 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

3学期	地球の変遷・地球の環境	F 宇宙と地球の歴史 ①宇宙カレンダー ②宇宙の誕生 ③太陽系の誕生 ④地球の誕生 ⑤世界史と地球史 ⑥先カンブリア時代 ⑦【探究】地球史の年表をつくろう！	a:宇宙の広がり、宇宙と地球の歴史、地球環境の変化の仕組みの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b:これからの宇宙、これからの地球について、観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現している。 c: 宇宙の広がり、宇宙と地球の歴史、地球環境の変化の仕組みに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査	レポート	レポート 提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度